

H15_ 緑とオープンスペースのための新たな目標・指標等の検討に関する調査

調査項目 緑とオープンスペースのための新たな目標・指標等の検討に関する調査

調査年次 平成15年度(4次調査) 章番号〔 〕

目的

大都市に共通する緑とオープンスペースの確保目標・指標づくりについて、アウトカム指標を念頭に置き、市民にわかりやすい指標として確保する。

概要

緑とオープンスペースの既存指標や調書による大都市の指標に関する取り組み・考え方の整理を行い、既存指標の問題点をまとめ、大都市において望まれる緑のオープンスペースの指標検討を行った。

結果

既存指標の問題点を踏まえ新しい指標により対応すべき内容

- ・『全般・緑量』 人口変動に影響しない指標、目標数値の意味がわかる指標、配置を評価できる指標、アウトカムにより近い指標
- ・『レクリエーション』 公園配置と関連した新しい指標、アウトカムにより近い簡便な指標
- ・『環境』 緑の重要な機能としてアピールできる指標、緑の効果を新しく評価できる指標
- ・『防災』 広域避難地以外のオープンスペースに関する指標、都市毎の目標となるような指標
- ・『その他』 新しい政策の推進を反映できる指標(景観・観光 etc)

大都市において望まれる緑とオープンスペースの指標

指標の目的からみて望まれる方向 既存指標の問題点を解消する指標、新しい分野に着目した指標、市民と行政が協働で達成できる指標

指標の技術的要件からみて望まれる方向 容易に算出に取り組める指標、市民にわかりやすい指標、より成果に近い指標(アウトカム指標)

主な分野別指標候補を抽出し各指標の目的と指標の技術的要件の整理を行った。

- ・『総合・緑量』 「緑被率・緑地率」「人から見える緑の面積」「市街地面積あたりの水と緑の公的空間面積」「ネットワークされた水と緑の公的空間の割合」「緑の満足度」「住民の緑化活動参加数」
- ・『レクリエーション』 「身近な都市公園等を有する基礎コミュニティ単位の割合」「都市公園等平均誘致圏距離」「水と緑の公的空間利用者数」「高齢者に活用される水と緑の公的空間数」「1㎡あたりの公園仮想利用評価額」
- ・『環境』 「生物多様性に寄与する水と緑の公的空間数・面積」「生物多様性の高い水と緑の公的空間の市街地に占める割合」「緑のヒートアイランド低減効果」「緑のCO₂削減効果」「緑のNox削減効果」
- ・『防災』 「オープンスペースによる緊急避難カバー率」「一時避難地となるオープンスペースの誘致圏域カバー率」「防災拠点となるオープンスペース整備率」
- ・『その他』 「良好な景観を形成する水と緑の公的空間数」「観光に寄与する水と緑の公的空間数」「バリアフリーとなっている都市公園の割合」「総合学習に活用される水と公的空間数」

指標の選び方の留意点 リアルタイムデータの必要性の高いものや全国比較する指標は、算出の容易性、根拠データが整備されている。市民にアピールする指標は、市民へのわかりやすさやアウトカム指標に近い指標。算出に各種調査が必要な指標は、定期的調査の体制づくり必要。環境分野は、理論的根拠データの充実。

課題

調査結果の反映等

調査項目 緑とオープンスペースのための新たな目標・指標等の検討に関する調査

調査年次 平成15年度(4次調査) 章番号〔 〕

キーワード

公園制度、既存指標の問題点、目標値、オープンスペースの指標

事例公園等